

氏名	河田 志帆
学位の種類	修士(看護学)
学位記番号	修士第158号
学位授与年月日	平成25年3月7日
学位論文題目	性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度の開発 ー20～30歳代女性労働者を対象とした信頼性・ 妥当性の検討ー

## 論文内容要旨

※整理番号	163	(ふりがな) 氏名	かわた しほ 河田 志帆
修士論文題目	性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度の開発 -20～30 歳代女性労働者を対象とした信頼性・妥当性の検討-		
<p>【研究目的】 性成熟期女性の産業保健サービスを検討するため、女性労働者を対象に、性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度を開発し、信頼性および妥当性を検討すること。</p> <p>【研究方法】 看護実践におけるヘルスリテラシーの概念分析を基に、大学教員および臨床経験 5 年以上の保健師を中心に 30 項目のヘルスリテラシー尺度(案)を作成した。調査①として、近畿・東海圏の協力事業所に所属する 20～39 歳の女性労働者 1030 人に自己記入式質問紙調査を実施した。対象者には文書で依頼し、質問紙の返送をもって同意が得られたとした。質問紙の内容は、属性(年齢、婚姻歴、妊娠歴、子宮がん検診受診歴等)、性成熟期女性のヘルスリテラシー仮尺度(30 項目)、成人用ソーシャルスキル評定尺度のうち記号化・主張性(11 項目)、日本語版健康増進ライフスタイルプロフィール(54 項目)とした。尺度項目の選定は、各項目の得点分布を確認後、主因子法プロマックス回転による因子分析、I-T 相関による項目分析を行った。信頼性はクロンバック <math>\alpha</math> 係数の算出および、調査②として、近畿圏の協力事業所に所属する 20～39 歳の女性労働者 424 人に、自己記入式質問紙調査による再テスト法を実施した。再テストは 2～3 週間後に行い、初回テストと再テストの項目別、因子別合計点、尺度合計点の相関係数を求めた。妥当性は、性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度と成人用ソーシャルスキル評定尺度、および日本語版ライフスタイルプロフィールとの相関係数を求め、さらに子宮がん検診受診別の性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度合計点の平均の差を比較した。</p> <p>【結果】 調査①の回収数は 632 人(回収率 62%)で、有効回答は 622 人(有効回答率 98.4%)であった。尺度項目は、2 回の因子分析後 4 因子構造の 21 項目となり、累積寄与率は 53.7%であった。項目分析において、削除すべき項目はなかった。尺度全体の <math>\alpha</math> 係数は 0.88 となり、各因子の命名および <math>\alpha</math> 係数は【女性の健康情報の選択と実践(9 項目)】<math>\alpha=0.83</math>、【月経セルフケア(5 項目)】<math>\alpha=0.72</math>、【女性の体に関する知識(5 項目)】<math>\alpha=0.79</math>、【パートナーとの性相談(2 項目)】<math>\alpha=0.8</math> となった。また、性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度と成人用ソーシャルスキル評定尺度(記号化・主張性)の相関は <math>r=0.255(p&lt;0.01)</math>で、日本語版健康増進ライフスタイルプロフィールとの相関は <math>r=0.44(p&lt;0.01)</math>であった。子宮がん検診受診別の尺度合計点の平均は、<math>t=6.392, df=616, (p&lt;0.001)</math>で受診群が有意に高かった。調査②でおこなった再テスト法では、424 人のうち、再テスト同意者 103 人(同意率 24.2%)のうち、再テスト回収数は 86 名(回収率 83.4%)で有効回答率は 100%であった。初回テストと再テストの相関は全項目で <math>r=0.4</math> 以上、尺度合計点は <math>r=0.851 (p&lt;0.01)</math> であった。</p> <p>【考察】 性成熟期の女性に必要なヘルスリテラシーは、情報探索実践の要素のみならず、女性の体に関する知識・月経に関するセルフケア・自分の健康に関係する他者とのコミュニケーションから構成された。特に女性が自分の健康を守るために【パートナーとの性相談】因子の存在が重要であると考え。尺度の信頼性及び妥当性については、概ね良好な結果が得られ、有用性が示唆されたと考える。しかし、【パートナーとの性相談】は項目が少なく、さらなる尺度項目の検討が必要である。</p> <p>【総括】 看護実践におけるヘルスリテラシーの概念分析より得られた属性を基に、性成熟期の女性労働者を対象に尺度開発を行った。その結果、性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度は、【女性の健康情報の選択と実践】、【月経セルフケア】、【女性の体に関する知識】、【パートナーとの性相談】の 4 因子 21 項目から構成され、信頼性および妥当性においては概ね良好な結果を得た。今後女性労働者の実際の声を含め、より有用性の高い尺度の開発が必要であると考え。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字程度)  
2. ※印の欄には記入しないこと。